

今週のメニュー

■ [トピックス 1](#)

◇PVC Design Award 2017 開催 未来を拓く PVC—機能と美の創造—

PVC Design Award 事務局

■ [トピックス 2](#)

◇JPEC研修会を東京、大阪で開催

—化学物質管理の動向、ものづくり産業とIoT、可塑剤の最新動向について紹介—
塩化ビニル環境対策協議会事務局■ [編集後記](#)■ [トピックス 1](#)

◇PVC Design Award 2017 開催 未来を拓く PVC—機能と美の創造—

PVC Design Award 事務局

今年7回目となる「PVC Design Award 2017」を開催いたします。今年のテーマは、「未来を拓く PVC—機能と美の創造—」です。PVCの新たな可能性を拓く新しいコンセプトで、デザインの原点に戻り機能性と美を兼ね備えた作品を募集します。これまで通り、「デザイン提案」と「製品応募」を広く募集しますが、これまで限定していた「軟質塩ビ」の枠を外し、「硬質塩ビ」にも対象を広げますので沢山のご応募をお待ちしております。

デザイン提案、製品応募共に募集開始は4月1日からです。デザイン提案については、昨年と同様のマッチング方式を進めます。締め切り日を5月26日とし、集まった提案の中から加工メーカーなどが作りたと思うデザインを選定し、デザイン提案者と試作について合意が得られればプロトタイプの試作を行います。そして、完成した「試作品」と「製品応募」（共に締め切りは10月26日）を対象に、分け隔てなく審査基準（テーマとの適合性・独創性・素材性・環境性・市場性）に則して厳正な審査を行い、大賞（1点）には賞金100万円、優秀賞（3点）には賞金各10万円、入賞には賞金各2万円を贈呈します。

表彰式は11月16日（木）に国際フォーラム（東京都千代田区）で行ない、同日から昨年と同様 [GOOD DESIGN Marunouchi](#) で11月26日（日）まで展示会を行います。

昨年は受賞作品を中心とする約50点余りの作品を展示し、10日間の展示期間に約4000名と非常に多くの来場者があり塩ビを知っていただくいい機会となりました。同会場は白を基調とした内装で、カラフルな塩ビ製品は色が映えて見え、丸の内仲通りを歩く方がガラス越しに作品を見て次々に来場いただく光景を目のあたりにしとても嬉しく思いました。受賞した方からは、ここでの展示により自社のHPへのアクセス



GOOD DESIGN Marunouchi での
展示会（2016年）

件数が増え、加工などについて問い合わせが増えたとお聞きしています。応募される方は、是非この会場での展示も目指して応募いただければと思います。名古屋、大阪、福岡でも展示会を予定しています。詳細は[アワードホームページ](#)で決定次第ご案内いたします。

今年も、デザイナー・クリエイターに向けたデザインアワードの説明会を実施します。大阪では一足早く3月14日にメビック扇との共催で行いました。4月には東京、名古屋で行います。素材メーカー、加工・商業関連の経験者が素材や加工サンプルを用いて素材の特徴、加工方法、製品の特徴などについて説明し理解を深めていただきます。残念ながらセミナーに参加できない方々には問合せ窓口を通じて、主催団体企業の専門家が疑問にお答えします。



GOOD DESIGN Marunouchi での
展示会（2016年）（外観）

デザイナー・クリエイターの方々、作り手の方々には、日本のデザインとモノづくりの力を活かし、「未来を拓く PVC—機能と美の創造—」を表現した素晴らしい作品のご応募をお待ちしております。

尚、応募方法、スケジュール等に付きましては、[アワードのホームページの募集要項](#)をご覧ください。

説明会：名古屋 4/6（木）（ナディアパーク） 18:00-20:00
東京 4/14（金）（住友六甲ビル 2F） 18:00-20:00

■トピックス 2

◇JPEC研修会を東京、大阪で開催

—化学物質管理の動向、ものづくり産業とIoT、可塑剤の最新動向について紹介—
塩化ビニル環境対策協議会事務局

塩化ビニル環境対策協議会(JPEC)主催の研修会を、3月7日東京の東部ビルで、3月14日大阪は阪急グランドビルでそれぞれ開催しました。東京会場は80名を超える方々、大阪では40名の方に参加いただきました。

JPECでは、会員団体の会員の方々や塩ビの製品に関係されている皆様に、テーマを塩ビの最近の状況や化学物質管理などとして、外部の講師を招き講演会や研修会を開催しています。

東京は、経済産業省 化学物質安全室長 飛驒俊秀氏、化学物質管理課 特別専門職 何本仁氏から「最近の化学物質管理動向について」講演をいただきました。

飛驒様は「化審法の最新動向」として今後の化学物質対策の在り方について説明いただき、何本様からは「化学物質管理と情報伝達」として情報伝達の現状とchemSHERPAのサプライチェーンを通じて行われる情報伝達について説明いただきました。



東京会場

大阪では「第4次産業革命をリードする日本の戦略と地域における『ものづくり現場のIoT』の取り組み」について経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課の門田課長補佐に講演をいただきました。

門田様はインターネット時代の製造業の対応状況を説明し、化学工業の業界はIoT (Internet of Things) が進んでいるとの説明がありました。



大阪会場

東京・大阪のいずれの研修会も可塑剤の最新動向について、可塑剤工業会の柳瀬技術部長から可塑剤の種類や組成、生産量、規制動向など多岐にわたり詳しく説明いただきました。

研修会に参加された方からは、経済産業省の方の話を受ける場は貴重、プラスチック業界のIoTの動きを初めて知った。可塑剤の現状（生産量、海外の動向など）がわかったなどの意見があり、規制の動向についてはタイムリーに情報を更新して発信してほしいなどの意見が寄せられました。

今後もJPEC加盟団体の会員会社や塩ビを使っている多くの方々に、塩ビに関する情報を発信すると同時に皆様からのご意見を頂戴する情報交換の場として続けてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 編集後記

頭が重く、目が真っ赤、鼻水が止まらず、夜も眠れず・・・、何年も続いた花粉症の症状です。毎回前年末から薬を使い続けていましたが、ある年忘れてたら、酷くならず終わってしまいました。以来、本当に酷い日に鼻水が出る程度で、自分では治ったと感じています。さる建築の大家に話したところ、しっかり研究すべきだと指摘されました。さすがに単に歳のせいにする事なく、着眼点が違います。さりとして、花粉症が流行らなくなると、今や多くの産業が痛手を負うはずで、放っておこうは歳のせいでしょうね。(河童っ子)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



■ 東京都中央区新川 1-4-1
■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783
■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp